ヌエバでチャンピオンを目指せ!!

国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権（インカレ）
唯一の公式試合球

日本ハンドボール協会検定球

本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H300WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H200WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

東京本社　〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌・リノU.S.A.・デュッセルドルフG

夢実現、神戸からアテネへ

アテネオリンピック・アジア予選いよいよ開催

㈶日本ハンドボール協会常務理事・マーケティング本部長　石井　勝

9月23日（火）から9月28日（日）まで兵庫県神戸市神戸グリーンアリーナに於いてアテネオリンピック・ハンドボール競技アジア予選がいよいよ開幕いたします。大会試合組み合わせも決定し、日本代表男子は初戦9月23日（火）15：00よりチャイニーズ・タイペイと、また、日本代表女子は9月23日（火）17：00より中国と戦うことが決まりました。

日本ハンドボール協会としては、9月23日（火）日本代表女子の試合、9月24日（水）日本代表男子韓国戦をサンテレビジョンで中継放送することを決めました。また9月25日（木）にスカイAで19：00から22：00まで23日、24日の日本代表男子、女子の試合を２試合連続録画放送いたします。

日本代表男子チームは、アテネオリンピック・アジア予選突破に向け、エジプト代表チームを迎えて７月17日から７月20日まで神奈川県、愛知県、福井県で壮行試合（JAPAN CUP 03）を実施しました。チームはこの対戦を重要なトライアルとして位置づけ、合宿の成果を確認しました。戦績は２勝１敗ではありますが、試合内容から見て今までにない強化合宿の成果が出て、各ポジションの激しい競り合いがチーム戦力ＵＰにつながり、オリンピック出場が夢ではなく、現実に大きく一歩前進しました。また、日本代表女子ナショナルチームも福井県で北国銀行と壮行試合を実施し、合宿の成果が発揮され、大いに期待が持たれた試合内容でありました。

日本代表男子は７月末から８月後半までチェニジアで、女子は８月後半から９月半ばまで海外遠征で実戦経験を積みかさねます。そして、直前の日本での最終強化合宿を経、決戦の地神戸へと向かう強化スケジュールが組まれています。

夢実現に向け、応援が選手にとって何よりもの勇気づけになります。日本代表男女選手が愛用しているムササビＪＡＰＡＮプラクティスシャツを皆で着て、日本ハンドボールが一体となってパワーを集結させましょう。熱い、熱い「GO！ GO！ ムササビＪＡＰＡＮ」の応援でオリンピック切符をゲットしよう！！皆様方のご観戦、応援にご協力を賜るようお願いいたします。

JAPAN CUP '03

アテネオリンピック・アジア予選壮行試合

2003年アテネオリンピック・アジア予選・兵庫／神戸大会が２ヶ月後に迫った７月17日（木）横浜、19日（土）名古屋、20日（日）福井において、男子は同じくオリンピック予選を控えたエジプト・ナショナルチームを迎えての壮行試合が行われた。女子は20日福井に於いて北国銀行との試合が行われた。

結果と戦評

◆ 第１戦（７月17日(木) 神奈川：横浜文化体育館

日　本 34（21－９、13－19）28 エジプト
（１勝）　（１敗）

日本のスローオフでゲームが開始し、中川のロングシュートで先制点をあげる。その後は１点の攻防で、前半10分に５－５となる。しかし、ここから日本の攻撃に火が付き、内田の４連続得点などで日本が一気に点差を広げる。ＧＫ坪根の活躍もあり、又エジプトのミスも重なり、前半は21－９の大差がつく結果となる。

後半に入るとエジプトにもエンジンがかかりだし、シェリフの連続得点などでいったんは５点差まで点差が詰まり、全日本側にも緊張が走る。しかし、日本は速攻やＧＫのナイスセーブなどで点差を広げ、34－28で勝利を得た。

【日本】内田８、宮崎７、中川６、茅場４、佐々木２、永島２、羽賀２、広政１、東１、田場１

【エジプト】フセイン・ザキ12、シェリフ・ヘガジー５、サーベル・ビラール４、マルワン・ラガブ２、ハニー・エルファカラーニ２、モハメッド・ケシュク１、アブダッラ・カリーファ１、ハッサン・ラビエ１

◆ 第２戦（７月19日(土) 名古屋：枇杷島スポーツセンター

日　本 24（11－15、13－７）22 エジプト
（２勝）　（２敗）

エジプトのスローオフで試合開始。日本No.5 野村の２連取でリズムにのるかと思えたが、エジプトのゴールキーパーNo.12 エルナキープを中心とした、硬いディフェンスに点を取れず、その間６連取を許し、２－７とリードされた。日本は野村を中心に、エジプト・ディフェンスを揺さぶり、シュートチャンスをつくる。その後一進一退の攻防が続き、エジプトの４点リードで前半を折り返すこととなった。

©T.Suzuki

後半開始後、野村の７ＭＴ失敗も、ＧＫ坪根を中心とした粘り強いディフェンスを見せる。両チームともナイスプレーが続き、緊迫感のあるゲームが続く。日本は、再三の７ＭＴをエジプトのＧＫエルナキープに阻まれる。その嫌なムードを振り払うように広政、松林らで得点を重ねる。12分間無得点のエジプトは、しびれを切らし、ラフプレーでのレッドカードなどにより、最後は自滅した。

©T.Suzuki

エジプトのスピード豊かな攻撃や、日本の粘りのあるディフェンス等、見所の多い試合であった。将来のハンドボール界を支える小・中・高校生が多く観戦をしていた試合だけに、最後にラフプレーが目立ってしまったことは残念であった。

【日本】野村７、松林６、広政４、茅場３、佐々木２、永島１、東１

【エジプト】ワーイル・ファヒーム６、フセイン・ザキ６、シェリフ・ヘガジー５、ラミー・ユーセフ２、ハニー・エルファカラーニ２、フセイン・マブルーク１

◆ 第３戦（７月20日(日) 福井県営体育館

エジプト 33（15－12、18－12）24 日　本
（１勝２敗）　（２勝１敗）

ゲーム開始直後、日本No.19 東のポストシュートで全日本が先制。エジプトは思ったようにディフェンスでのリズムをつかむことができず、ポストでの失点が重なる。日本優位の前半かと思われた５－１での日本リードの場面で、エジプトがタイムアウト。その直後からエジプトにエンジンがかかり、日本のミスによるディフェンスからの速攻やセットでのサイド攻撃などで着実に加点。エジプトが、13－８としたところから、日本はNo.7 宮崎を投入。宮崎の３連取で息を吹き返した日本が、３点差にまで追い上げて前半終了。

後半に入り、日本はNo.12 ＧＫ高木を中心にディフェンスで粘りを見せ一進一退。日本No.7 宮崎、No.19 東を軸に追走するが、エジプトのNo.10 ヘガジー、No.20 ザキらのロングや個人技で徐々にリードを広げられた。終盤、エジプトのディフェンス・オフェンスが冴え、結局33－24でエジ

©T.Suzuki

プトが勝利した。このゲームでエースの宮崎は、高さのあるエジプト・ディフェンスに対して、「10得点」と、場内を沸かせた。

【日本】宮崎10、東4、野村3、谷口3、中川1、羽賀1、田場1、加藤1

【エジプト】シェリフ・ヘガジー11、モハメッド・ケシュク9、フセイン・ザキ6、サイード・フセイン2、ハニー・エルファカラーニ2、アブダッラ・カリーファ1、サーベル・ビラール1、ハッサン・ラビエ1

全日本女子　31（15―8、16―12）20　北國銀行

ゲーム開始1分後、北國の速攻ノーマークシュートが全日本GK・田中選手の顔面を直撃。騒然とした幕開けとなった。その序盤、両チームともにシュートミスが多く、思うような展開に持ち込むことができなかった。しかし、20分過ぎから全日本がディフェンスでリズムをつかみ始めた。さらに、No.14山田の投入により、全日本は一気に北國を突き放した。前半は、15－8で全日本がリード。

後半に入り全日本は、No.20谷口を投入。前半以上に積極的なディフェンスが展開された。8分までに全日本が6連続得点。ゲームの主導権を完全につかみ、2人退場となった場面もしのいだ。結局、31―20で全日本が勝利した。

No.5田中、No.14山田、No.18坂元、No. 20谷口らを中心として、今後の戦いに期待の持てるゲームとなった。

なお、北國銀行のNo.5小松選手は、スペインリーグ移籍のため、国内でのゲームは最後となった。

【全日本女子】稲吉6、田中（美）5、藤浦4、吉田3、山田3、早船3、坂元2、谷口2、羽出重1、佐久川1、屋嘉1

【北國銀行】小松5、村上5、中村3、北岡2、井上2、若松2、近藤1

記者会見から

横浜会場においてゲーム終了後、エジプトチームと全日本男子チームの記者会見が行われ、オリンピック予選に向けてに質問が集中し、共に順調な仕上がり状態が語られた。

《日本代表チーム》

◆田口監督：我々は速攻のチームで、我々が目指すのはディフェンスから速攻へとつなげるゲーム展開である。6月からの課題は十分に達成されているし、本番までにさらにまとまりのあるチームに仕上げたい。

後半リズムが悪くなったのはディフェンスが崩れたから。これが今後の課題である。併せて、オフェンスではポジショニングが偏り、密集したところに集まってしまったのでボールを持たない選手の動きが課題である。

今日は50％の出来。後半メンバーを変えたときが課題で、選手層を厚くする必要がある。2、3戦も勝負にこだわって勝つ試合をしたい。今後は、実戦を通してコンスタントに力が発揮できるようにしていきたい。

◆中川選手：今までの練習がハードだったので、実戦の方が楽であった。中東の選手は身体能力が高いので、最後まで見ていないといけないし､気が抜けない。一戦一戦が大切である。

◆田場選手：アテネに向けたステップとして気合いが入った。今日は中川、宮崎が良かったので組み立てに専念した。彼らのマークがきつくなったときが、僕の出番である。試合に対するモチベーションも上がり、試合中心の日々で、早く試合がしたい。

◆宮崎選手：ベストとはいえなかったが、徐々に調子を上げていきたい。僕はオフェンス中心であるが、ミスも多く出てしまい今後の課題が見えてきている。気持ちの面では万全であるので、体を早く本調子にしていきたい。

《エジプト代表チーム》

◆ラビーブ団長：我々もオリンピック予選を9月17日に控えており、今回の遠征の意味は大きい。ジュニア世界選手権のために5名の選手が来日していないし、ザキ選手もスペインから戻ったばかりで本調子ではない。

日本は良いチームで、まとまっているし、速攻も早い。アジア予選は日韓が中心でハードなものになるだろうが、地元開催でもあり、モチベーションをあげて頑張ってほしい。

◆ロマル監督：エジプト監督として5日前に就任したばかりで、まだ十分掌握していない。選手は長時間の移動と時差で万全の体制ではなかった。残りの2試合も全力で戦いたい。今日は日本チームまで見る余裕はなかったが､ディフェンス、システム、ゴールキーパーの良いチームだと思う。

歓迎パーティー（名古屋）

横浜でのゲーム終了後、名古屋に移動した7月18日、名古屋栄東急イン、メープルの間において両チーム、日本協会役員、愛知県協会役員、スポンサー計約70名が参加して歓迎パーティーが開催された。

市原副会長から歓迎の挨拶の後、ラビーブ団長から、豊かで文化的な国の支援・協力に感謝。楽しい時間を過ごしたいとの挨拶がなされた。乾杯の後、桶狭間太鼓の演奏がなされ、エジプト選手団は身を乗り出して熱心に聞き入っていた。

スポンサーである（株）中村の中村俊介・栄子夫妻より挨拶をいただき､夫人には田口監督より同社製品「樹の恵」（米ぬか酵素入り天然樹液シート）のロゴの入ったナショナルチームのユニフォームがプレゼントされた。田口監督の力強い挨拶と、愛知県ハンドボール協会太田耕治会長より挨拶がなされ、和やかな中パーティーは終了した。

アテネオリンピック・
アジア予選壮行試合

Photo Gallery

名古屋のアトラクション ©T.Suzuki

横浜のアトラクション ©T.Suzuki

福井のアトラクション ©T.Suzuki

記者会見する日本チーム
(右より、中川選手、宮崎選手、田口監督、田場選手)

野村広明選手 ©T.Suzuki
気迫のジャンプシュート

記者会見には様々なメディアが注目した。

スポンサーのキャンペーンギャルとエジプトのエース・ザキ選手

全日本チームをエスコートした大和ハンドボールクラブの皆さん

地元小学生と共に入場するエジプト選手

全日本チームはみんなのあこがれ！　©T.Suzuki

ヴォル・コーチの真剣な眼差し

©T.Suzuki

激励に訪れた渡邉会長と宮崎選手

エースの宣言 ～アテネオリンピック予選に向けて～

男子

ムササビ２世の名を誇りに

宮崎大輔（日本体育大学）

スペイン留学２年を経験させていただき、ムササビ２世としてアテネオリンピックに向けて、最高潮の中でオリンピック予選を地元日本、神戸で迎えられることを楽しみにしています。スペインではボールへの執着心と、一点の重みを学んできました。シュートは確率ですが、最後の最後まであきらめないことの重要さを知りました。神戸での３試合全てに全力で臨み、一戦一戦を確実に勝利していきたいと思います。

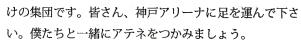
僕自身はオフェンス専門なので、常に前を狙い、もっともっと力強くゴールに向かっていきたいと思います。また、チームの課題はディフェンスですので、ディフェンスを助けるオフェンス、着実に得点することが僕に課せられた使命と感じています。

オリンピックは世界最高の晴れ舞台です。全てのスポーツ選手にとっての夢です。その夢にあと一歩の所まで来ています。皆さんのあと少しの後押しで夢は実現できます。どうぞ、神戸グリーンアリーナに足を運び、会場一杯の声援で僕たちに力を下さい。ムササビＴシャツを着て会場に来て下さい。さあ、日本のハンドボール愛好者の悲願であるオリンピック出場をみんなで勝ち取りましょう。

あっと驚くシュートをお見せします

内田雄士（日本大学）

兄の影響で小学校から始めたハンドボールで、今、夢であったオリンピックを目指す直前のところに来ています。アテネオリンピックは僕にとっての大きな目標ではありますが、北京オリンピック、海外での活躍の場を求める通過点でもあります。そのために神戸では、一戦一戦を大切に戦いたいと思います。

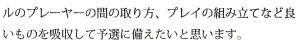
２年間のスペイン留学で体格の大きな選手と戦い、あたりの強さに慣れてきたと思います。オリンピック予選はハードなゲームが多くなるでしょうが、この経験がきっと生きてくることと思います。また、スペインで勝つこと、結果を出すことの重要性を学びました。観客の声援も力になりました。声援は確かに緊張になりますが、今のナショナルチームはそれを力に変えるだけの集団です。皆さん、神戸アリーナに足を運んで下さい。僕たちと一緒にアテネをつかみましょう。

本来の４５度のポジションからサイドにコンバートされ、慣れないポジションではありますが、精一杯走り回ります。会場では、アッと驚くシュートをお見せできると思います。シュートが決まったときは「たけし」コールをお願いします。神戸で会いましょう。

世界へ発進宣言！

山田永子（筑波学園クラブ）
（筑波大学大学院）

私の目標は、世界に通用するプレイヤーになること、そしてオリンピックに出場し、日本のハンドボール界を元気にすることです。まだまだ力不足ではありますが、自分に限界をつくらず、貪欲に取り組むことで必ず実現したいと思い、これまでやってきました。

私の役割は攻撃で積極的に得点を狙うこと、そして多くの得点チャンスを作り出すことです。粘り強く、一瞬の隙も逃さない集中力で戦い抜きます。オリンピックの切符をかけて日本の代表として戦え、しかも母国である日本が会場といった、人生の中でこのような好機に恵まれることは二度とありません。このチャンスを絶対にものにするんだ!!と、いつも自分に言い聞かせています。

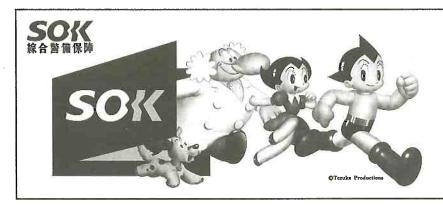
予選の前には、ヨーロッパ遠征があります。チームとしての仕上げはもちろんのこと、トップレベルのプレーヤーの間の取り方、プレイの組み立てなど良いものを吸収して予選に備えたいと思います。

２００１年に大阪で行なわれた東アジア大会ではサポーターの皆さんの声援が、私達の背中を力強く押してくれました。日本が一丸となって戦っている、そんな感覚がありました。神戸では３試合に全てをかけます。私達のベストのプレイと、サポーター皆さんの応援で、悲願のオリンピック出場を現実にしましょう。応援よろしくお願いします。

有言実行！　オリンピックに行きます！！

田中麻美（ＧＫ：北国銀行）

私にとってオリンピックは夢でした。昨年のアジア大会に参加して、オリンピックに出たい気持ちがさらに強くなりました。しかもその夢は、手の届くところまで来ています。しかし、その夢は多くの諸先輩が挑戦し、実現できなかったもので、並大抵の努力では達成できないことも事実です。諸先輩の努力以上の努力をして、諸先輩の頑張り以上の頑張りしたいと思います。

ＧＫは１番最後の守りの要です。ハンドボールは得点の取り合いのゲームですから、常に一点の失点もない決意でコートに立っています。もちろん一人でゲームは出来ませんので、攻撃の最初のオフェンスとしても心掛けています。今、チームは２ヶ月に渡る合宿を経験し意識も、方向性もはっきりしてまとまっています。８月後半から９月にかけてのノルウェー、デンマーク遠征では、さらに強い気持ちで臨み、技術だけでなく精神的にも強くなって本番に向かいたいと思います。

京都出身の私にとって、神戸は地元のようなもの。日本で、しかも神戸でオリンピックにチャレンジできる私は幸せです。オリンピックに向けて最高の環境を与えて下さった皆さんのためにも頑張ります。当日まで精一杯の準備をして私たちはコートに立ちます。どうぞ、会場に足を運び、当日は私たちに声援を、応援を、そして力をください。

アテネ・アジア予選神戸大会直前情報

アテネ予選まであとわずか、神戸に集合しよう

アテネオリンピック予選まで、あと一ヶ月を切った。ナショナルチームはもちろん、地元神戸でも着々と準備が整ってきている。スムースな大会運営で、気持ちよい環境でぜひ男女そろってオリンピック出場を勝ち取ってもらいたいものである。

大会期間中には様々な催しが企画されている。日本のハンドボール愛好者が神戸に集結し、グリーンアリーナを埋め尽くしたプラクティスシャツでナショナルチームに声援を送ろう。私達の応援が、きっと大きな夢に結びつくのだから。

❑ 長嶋茂雄氏、日本ナショナルチーム激励のため来場予定 ❑

ＪＯＣエグゼクティブアドバイザーで、読売巨人軍名誉監督の長嶋茂雄氏が大会初日の９月24日（水)、男女ナショナルチーム激励のため神戸グリーンアリーナに来場される予定です。

❑ がんばれハンドボール10万人会サポート会員に朗報 ❑

◆サポート会員のための会場中央・特設席を設置しました。

◆ご来場の際、会員証をお忘れなくご持参ください。

◆平成15年９月10日（水）までに、入会、継続手続き（ご入金）をしていただくと、神戸予選大会までに会員証をお届けできます。

★10万人会ペアチケット、公式試合パスカードはご使用できません。別途チケットをご購入ください。

❑ テレビ放送日程決まる ❑

●サンＴＶの生中継時間

９月23日（火）17：00～　日本 vs 中国　（女子）

９月24日（水）17：30～　日本 vs 韓国　（男子）

●ＴＶＫテレビでも同日録画放映予定（放送時間は未定）

●スカイＡの録画放映時間

９月25日（木）19：00～22：00（23日、24日の日本代表、女子の試合を２試合連続録画放送）

❑ ムササビクロスカップ開催 ❑

８月号既報（機関誌№. 442、p,22）の通り、大会開催期間中に全日本実業団ハンドボール連盟及び全日本学生ハンドボール所属チームによる交流大会が開催されます。詳しい日程についてはインターネットをご覧下さい。

❑ 小学生対象の実技講習会開催 ❑

９月27日（土）神戸グリーンアリーナにおいて小学生対象の実技講習会開催が開催されます。

❑ アテネ予選企業協賛（７月16日～８月６日）❑

ご協賛いただき、ありがとうございます。

【企業】 ㈱スポーツイベント　大塚包装工業㈱　㈱イデイ　甲南包装工業㈱　㈱タイヨーパッケージ　ネクスタ㈱　山下印刷紙器㈱　日本鋪道㈱

【都道府県】 福島県　茨城県　滋賀県

【地区】 ＨＣ岡山

神戸事務局便り２

アテネオリンピックハンドボールアジア予選兵庫・神戸大会

「神戸からアテネへ」準備も大詰め

アジア予選神戸事務局次長　丸茂　康子

（兵庫県ハンドボール協会常任理事）

記者会見で挨拶する山下日本協会副会長

残暑お見舞い申し上げます。

アジア予選大会を23日後に控え、事務局も日ごとに忙しくなってまいりました。

SARS問題も、あのころの騒ぎが嘘のように影を潜め、いよいよ大会開催にむけて準備もピッチを上げているところです（日本ハンドボール協会危機管理委員会は８月１日、予定通り実施することを通知してきました）。

神戸市内に告知広告掲示

７月23日から神戸市内の３カ所に大会告知横断幕・ボードが掲示されました。１つはＪＲ元町駅山側、市立神戸生田中学校南側フェンスに横断幕をかけております。もし、ＪＲ神戸線を利用されたときは目を山側に向けてください。

あと２カ所は神戸市営地下鉄改札口に入る所・ＪＲ三宮駅西口から阪急三宮駅東口へのコンコースです。頭上をちょっと見てください。ボードに大きくアピールしています。

第１回記者発表を行う

８月４日、関西地区の報道関係者を招き、第１回記者発表がグリーンヒルホテルで盛大に開かれました。この日の模様はＳＡＮＴＶニュースでも放映されました。

山下副会長の挨拶のあと、緒方強化部長が現在までの日本ナショナルチームの強化対策を説明し、男子田口監督は海外遠征で出席できませんでしたが、女子チーム西窪監督が強化合宿報告やこの大会にかける抱負などを述べられ、記者の中には、その長期にわたる合宿に驚かれた方もおられましたが、いずれにしましても大会にかける努力が実を結ばれることを願わずにはおれません。ナショナルチームの皆さん頑張ってください。

事務局あれこれ

先日、練習会場や割当時間等の割り振りをしていました。宿舎や試合会場に近い体育館を押さえ、関係者と何度も検討し、やっと出来あがりました。今回新しく出来た体育館が、神戸市近郊にあるので利用しようということで計画にいれました。そして、挨拶をかねて打合せに行きました。細かい打合せをし、最後にコートを見させてもらいました。ガーン！　コートが狭い。ガラス張り。ショックもショック。顔をひきつらせ、でるはため息、ため息の連続で帰路に就きました。計画の練り直しに頭を痛めている今日この頃です。

チケットも好評販売中だとか。

みんな神戸に集まれ!!!

絶対集まれ!!!

ＪＲ元町駅線路沿いの生田中学校のフェンス

阪急電鉄三宮駅地下コンコース

アテネオリンピックハンドボール競技
アジア予選 兵庫・神戸大会のご案内

★ 会　場

神戸総合運動公園内「グリーンアリーナ神戸」
神戸市須磨区緑台 TEL 078-796-1155(神戸市営地下鉄「総合運動公園」徒歩5分)

★ 日　程

月　日	試合時間	対　戦　カ　ー　ド
9月23日(火)	15:00～	男子　日　本(JPN)　VS　チャイニーズタイペイ(TPE)
	17:00～	女子　中　国(CHN)　VS　日　本(JPN)
9月24日(水)	15:30～	女子　韓　国(KOR)　VS　カザフスタン(KAZ)
	17:30～	男子　韓　国(KOR)　VS　日　本(JPN)
9月25日(木)	16:00～	男子　中　国(CHN)　VS　チャイニーズタイペイ(TPE)
	18:00～	女子　中　国(CHN)　VS　カザフスタン(KAZ)
9月26日(金)	16:00～	男子　韓　国(KOR)　VS　チャイニーズタイペイ(TPE)
	18:00～	女子　韓　国(KOR)　VS　日　本(JPN)
9月27日(土)	14:00～	女子　韓　国(KOR)　VS　中　国(CHN)
	16:00～	男子　中　国(CHN)　VS　日　本(JPN)
9月28日(日)	14:00～	女子　日　本(JPN)　VS　カザフスタン(KAZ)
	16:00～	男子　韓　国(KOR)　VS　中　国(CHN)

★ 入場券購入方法・その他

＜購入方法＞
インターネット・FAXでのご注文を承ります。(電話での申込みは受け付けておりません)
ご質問などにつきましても、FAX・E-Mailにてお願いします。
緊急の場合のみ、アジア予選神戸事務局までご連絡ください。(078-262-0266)
※ 注意事項
・購入期日に入場出来なかった場合は、当日券販売窓口にて期日変更をしてご入場ください。
返品・交換の払い戻しは一切致しません。

＜ご注文～お届けまで＞
・ご注文後、7日以内にご入金・ご送金ください。ご入金確認後、郵送先へお届けいたします。
お支払いについては、銀行振り込み・書留の2種類となります。
・チケット発送については、約1週間前後で郵送いたします。事情で遅れる場合には、
随時ご連絡をいたします。
※ 注意事項
・振込み手数料はご負担となります。
・お振込者名はFAX用紙記入名でお願いいたします。

● 何かご不明な点がありましたら、アジア予選神戸事務局までご連絡ください。
［連絡先］ Fax:078-262-0288　　E-mail:aopakobe@khaki.plala.or.jp

アテネオリンピックハンドボール競技
アジア予選 兵庫・神戸大会

入場券購入表

個人申込ご芳名			
団体申込み	クラブ・大学・高校・中学校		
責任者名			
住所（郵送先）	〒		
Tel		Fax	
E-mail			

入場券種類		単価（円）	枚数	合計（円）
全日程通し券		5，000円	枚	円
9月23日（火）	一般・学生券	2，000円	枚	円
	中学・高校生券	1，500円	枚	円
9月24日（水）	一般・学生券	2，000円	枚	円
	中学・高校生券	1，500円	枚	円
9月25日（木）	一般・学生券	2，000円	枚	円
	中学・高校生券	1，500円	枚	円
9月26日（金）	一般・学生券	2，000円	枚	円
	中学・高校生券	1，500円	枚	円
9月27日（土）	一般・学生券	2，000円	枚	円
	中学・高校生券	1，500円	枚	円
9月28日（日）	一般・学生券	2，000円	枚	円
	中学・高校生券	1，500円	枚	円
合計			枚	円
ご希望・ご要望等				

※ 購入期日に入場出来なかった場合は、当日券販売窓口にて期日変更して下さい。
返品・交換の払い戻しは一切致しません。

※ 申込み後、7日以内にご入金・ご送金下さい。約1週間前後で、チケットを郵送いたします。

※ 代金振込の場合、振込手数料はご負担下さい。振込名はFax用紙記入名でお願します。

◎ 代金支払い方法（いずれかに○を入れて下さい）　銀行振込 ・ 書留

＜振込先＞三井住友銀行　西神中央支店（337）　普通口座　5304310

名義人：アジア予選神戸事務局　代表者　丸茂　康子

「女性委誕生に期待」

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

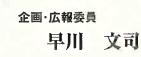
誕生が待たれていた日本協会の「女性委員会」がうぶ声を挙げ、担当参事に東京教育大（現筑波大）出身の上原信子さんが決まった。日本協会の理事、参事に女性が起用されたのは初めてのこと。それだけでも画期的な出来事である。

「役員に女性を」の声はかなり以前からあったものの、なかなか実現までには至らなかった。今春の役員改選前にも「今度こそ」の期待から人選が進められているとの話は会ったが、結局は見送られ、あと一期先になるのかと思われていた。

ところが6月初旬の全国理事会で一気に具体化し、誕生した。これほどのうれしいニュースは久しぶりである。

今回の「女性委員会」誕生のきっかけは、1994年に世界女性スポーツ会議が採択した「スポーツにおける女性差別の撤廃条約（プライトン宣言）」をＪＯＣ（日本オリンピック委員会）が一昨年に批准したことによるものだ。

熊本で開かれる2006年の第4回の世界会議までにＪＯＣ加盟の各団体が具体的な行動を起こすことが求められていることから、ハンドボール協会としての行動もこれに沿ったものである。

さて注目は今後の行動である。ＪＯＣへ顔を立てることだけではあるまい。いかに有意義に活用するかであることは言うまでもない。

まずは女性の目で見たハンドボール界への提言を尊重する体制の確立を早急に整えることが求められる。旧態依然とした球界の立て直しにはもってこいの“新しい風”であることを真剣に考え、行動を起こすことが大切である。

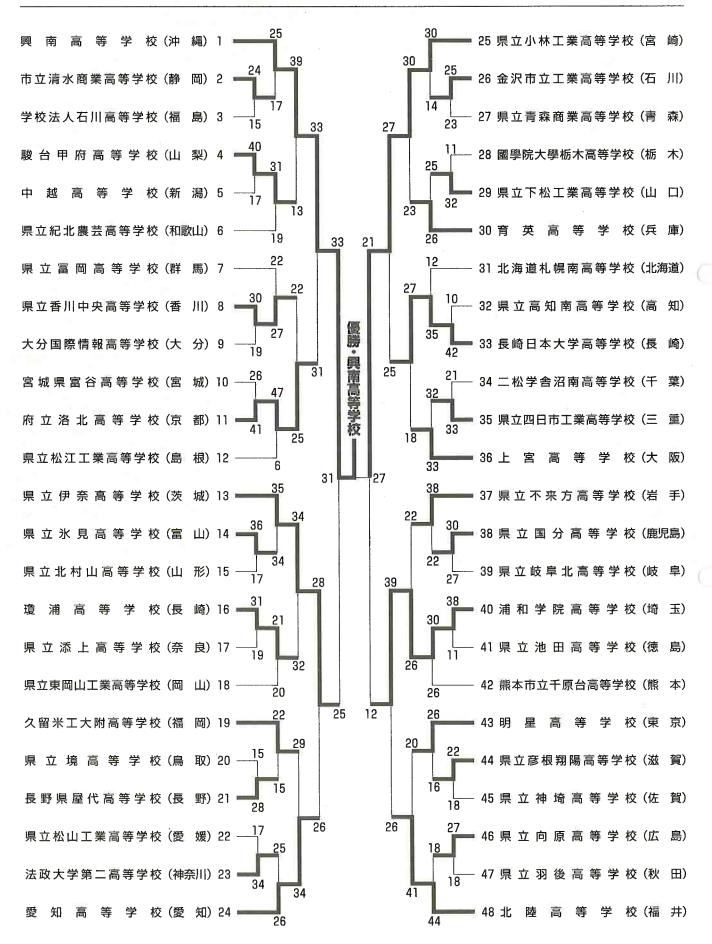
女子ハンドボール界の現状を率直にとらえると同時に的確に分析しながら、将来の姿を描くことも重要なテーマではなかろうか。

画期的な女性役員第1号への期待は大きく膨らむ。「女性」にこだわらず「男性」を含めた日本ハンドボール界全般への刺激的な役割をこなすことも球界にとっては重要である。活性化には何よりの今回の人事であると思う。

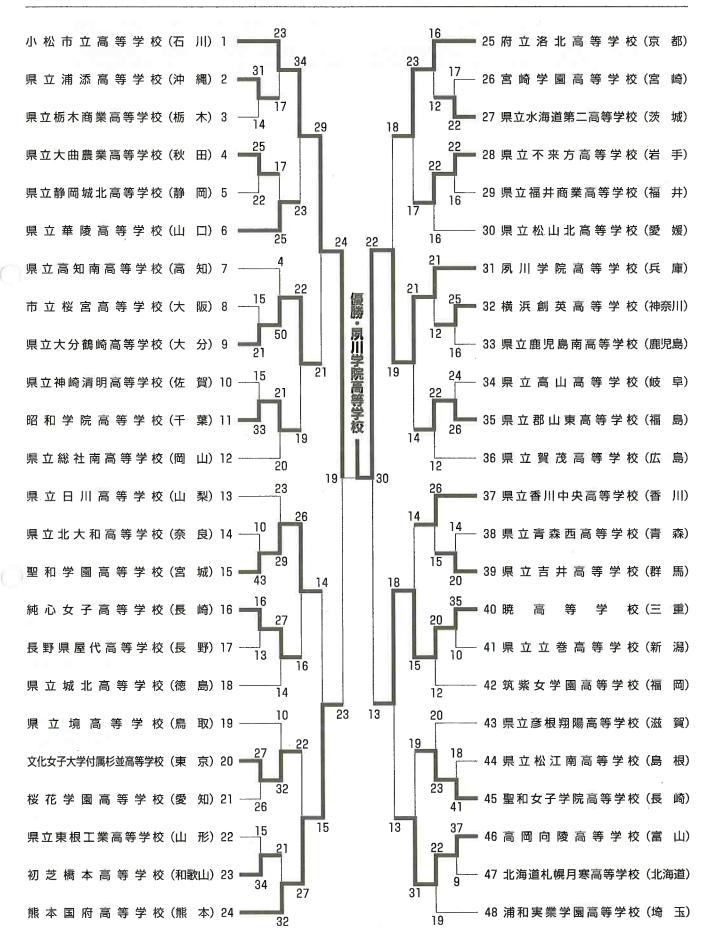
こうした時期をとらえて新しい日本ハンドボール界の姿を模索してもらいたいものである。せっかく「一石を投じた」ことを無駄にすることはない。それではあまりにももったいなさ過ぎる。

平成15年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第54回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

男子試合結果

平成15年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第54回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

女子試合結果

NTS2003報告

NTS2003ブロックトレーニング強化指導DVDについて

㈶日本ハンドボール協会
ＮＴＳ運営委員会　委員長　蒲　生　晴　明

ＮＴＳの強化指導は、昨年から競技者育成技術委員会が立ち上がり、強化委員会・指導普及委員会・審判委員会など日本協会の中心的な委員会が一堂に会して「統一した考え方」をまとめてきました。また、公認Ｂ級コーチの養成講習会でのコンセンサスも同様に諮られ、この後の日本のハンドボール界の方向性も充分議論されてきました。

今回のトレーニングのテーマは、**「目指せファンタジスタ！」**とし、昨年に引き続いてこのテーマを設定し、**「課題克服型トレーニング」**を重視しています。基本的には、日本ハンドボール界が国際的なゲームにおいて必要な「戦術・技術」などの「個人が瞬時に判断ができる能力」を如何にして育成していくかをポイントにしております。ハンドボール競技やボールを使った団体競技などは、ゲームを構成する「ゲーム戦術」、場面において数名での協力し合う「グループ戦術」、色々な局面で発揮される「個人戦術」と、継続した個人競技者の瞬時の判断を必要とした競技です。どんな競技においても、その局面での個人個人の判断が大変に重要になってきます。従って、我々指導者は、その局面でプレイしている競技者が瞬間的にあるいは事前に予測・創造し、パフォーマンスを自由に選択できるように指導していく事が、必要と考えられます。

今回の指導内容については、ウォーミングアップから攻防トレーニングまでストーリー性を重視して策定する事を基本にしてきました。

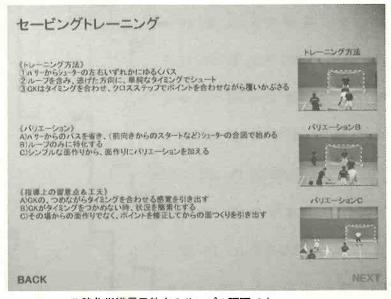
・ウォーミングアップ／コーディネーション
・オフェンス個人技術／戦術
・速攻トレーニング
・ディフェンストレーニング（インターセプト・数的不利な場面の戦術）
・実践的な（ポジション別／今回は対ポスト）ゴールキーパートレーニング

このプログラムをインストラクターが集まってシミュレーションを実施いたしました。

また、初めての試みですが、その内容をＤＶＤに編集しまとめました。従来の強化指導教本は、教本とＶＴＲといったものが主流でしたが、ＤＶＤ編集する事で教本と動画を同時にまた瞬時に、選択でき、大変見易くできております。ブロックトレーニングでは、デモＤＶＤを各ブロックに配布してありますので、一度見て頂き、購入される場合は申し込んでいただくことにしております。一人でも多くの指導者の皆さんに購入していただいて、指導に基本的な考え方を共に学んでいきたいと考えております。ぜひ、購入し、日常のトレーニングに活かしていただきたいと考えております。

終わりになりましたが、ＮＴＳ2003の指導案策定にあたり、絶大なる尽力をいただきましたＮＴＳ強化指導マニュアル策定プロジェクトメンバーの方々に厚く御礼申し上げます。

★ NTS2003のDVD ★

・**販売価格**
　2,500円（＋送料160円）
・**申し込み先**
　日本ハンドボール協会 NTS2003DVD係
　〒150-8050　東京都渋谷区神南1-1-1
　TEL 03－3481－2361
　FAX 03－3481－2367
・**申し込み方法**
　上記宛、必要事項【注文枚数、購入希望者名、送付先（〒、住所、TEL）】を明記の上、現金書留にてお申し込み下さい。
　ブロック・トレーニング会場でも、申し込み受付いたします。

ＤＶＤ強化指導電子教本のサンプル画面です。
写真をクリックすると、実際の映像（動画）を見る事ができます。

第28回日本ハンドボールリーグ日程表（第1週～第4週）

10月11日(土) 開幕を皮切りに、全国各地で開催いたします。是非、ご観戦ください。

★ 参加チーム一覧 ★

〈男子１部〉	ホンダ、湧永製薬、大同特殊鋼、大崎電機、ホンダ熊本、トヨタ車体、アラコ九州、ＨＣ東京
〈女子１部〉	広島メイプルレッズ、北国銀行、シャトレーゼ、オムロン、ソニーセミコンダクタ九州、ＨＣ名古屋
〈男子２部〉	北陸電力、トヨタ自動車、大阪ガス、豊田合成

週	月・日	開催地都道府県	会場	1部男子		1部女子		2部男子	
				時間	組合せ	時間	組合せ	時間	組合せ
1	10月11日(土)	兵庫県	大阪ガス今津総合グランド					15:00	大阪ガスvsトヨタ自動車
		広島県	湧永満之記念体育館	13:00	ホンダvsアラコ九州				
				15:00	湧永製薬vsHC東京				
		広島県	佐伯区スポーツセンター			12:00	北国銀行vsシャトレーゼ		
						14:00	オムロンvsHC名古屋		
						16:00	メイプルレッズvsソニー		
		熊本県	熊本県立総合体育館	15:00	大同特殊鋼vsトヨタ車体				
				16:40	大崎電気vsホンダ熊本				
	10月12日(日)	福井県	北陸電力福井体育館フレア					14:00	北陸電力vs豊田合成
		広島県	湧永満之記念体育館	13:00	ホンダvsHC東京				
				15:00	湧永製薬vsアラコ九州				
		広島県	呉市体育館			13:00	オムロンvsソニー		
						15:00	メイプルレッズvsHC名古屋		
		熊本県	松橋町体育文化センター	13:00	大崎電気vsトヨタ車体				
				14:40	大同特殊鋼vsホンダ熊本				
2	10月18日(土)	秋田県	湯沢市総合体育館	15:00	大崎電気vsアラコ九州				
				17:00	大同特殊鋼vsHC東京				
		石川県	小松総合体育館			11:00	ソニーvsHC名古屋		
						12:40	シャトレーゼvsオムロン		
						14:20	メイプルレッズvs北国銀行		
		愛知県	知立市福祉体育館	12:30	ホンダvsホンダ熊本				
				14:00	湧永製薬vsトヨタ車体				
		兵庫県	大阪ガス今津総合グランド					15:00	大阪ガスvs北陸電力
	10月19日(日)	岩手県	岩手県営体育館	14:00	大同特殊鋼vsアラコ九州				
				15:40	大崎電気vsHC東京				
		石川県	小松総合体育館			11:00	シャトレーゼvsHC名古屋		
						12:40	北国銀行vsオムロン		
		愛知県	豊田合成㈱健康管理センター	13:30	湧永製薬vsホンダ熊本			11:30	豊田合成vsトヨタ自動車
				15:30	ホンダvsトヨタ車体				
3	11月8日(土)	山梨県	緑ヶ丘スポーツ公園体育館			13:00	北国銀行vsソニー		
						15:00	メイプルレッズvsシャトレーゼ		
		山口県	周南市総合スポーツセンター	13:00	ホンダvs大崎電気				
				15:00	湧永製薬vs大同特殊鋼				
		佐賀県	神埼中央公園体育館	13:00	トヨタ車体vsHC東京				
				15:00	ホンダ熊本vsアラコ九州				
	11月9日(日)	山梨県	緑ヶ丘スポーツ公園体育館			11:00	北国銀行vsHC名古屋		
						13:00	メイプルレッズvsオムロン		
						15:00	シャトレーゼvsソニー		
		山口県	周南市総合スポーツセンター	11:00	ホンダvs大同特殊鋼				
				13:00	湧永製薬vs大崎電気				
		佐賀県	神埼中央公園体育館	13:00	ホンダ熊本vsHC東京				
				15:00	トヨタ車体vsアラコ九州				
4	11月15日(土)	東京都	駒沢体育館	15:00	ホンダ熊本vsトヨタ車体				
				17:00	アラコ九州vsHC東京				
		兵庫県	大阪ガス今津総合グランド					14:30	豊田合成vs北陸電力
								16:00	大阪ガスvsトヨタ自動車
	11月16日(日)	東京都	駒沢体育館	14:00	大同特殊鋼vs大崎電気				
				16:00	ホンダvs湧永製薬				

チーム情報・会場へのアクセス方法は、ホームページで詳しく掲載しております。

☆日本リーグホームページ　http：//www. jhl. handball. jp/

ｉ－ｍｏｄｅ版　http：//www. jhl. handball. jp/i/

全日本男子U－23チーム ロシア遠征報告

全日本学連理事長　福地　賢介　(財)日本ハンドボール協会理事)

遠征のきっかけ

第17回男子世界学生選手権大会（ブラジル）の直前中止により、全日本男子U－23の努力成果の発表の場を失って、失意の中にいた。そのU－23選手団へ、同じ状況下に置かれたロシア及びハンガリー他から、FISUやブラジルへの抗議や補償等の問題対応に関する連携連絡があった時に、発表の場を失った話をした。その際、学生選抜ユーリ監督から、当方へ来ないかと声をかけられた。今後の選手のハンドボール自体へのモチベーションも考慮し、先に声をかけてくれたロシア（ハンガリーからも声がかかる）への2002男子U－23チーム解散前のロシア遠征が急遽決定した。ユーリ氏がオーガナイズしてくれ、U－23 SKIF-2（世界学生選手権参加予定選手中心）、アストラハン（キャビアの名産地）、ウクライナの4チーム参加のロスネフトカップと練習試合3試合が計画された。遠征地のクラスノダールには、モスクワ経由で2003年3月4日夜に入り、5日＝練習日、6～8日＝調整3試合、9日＝ヨーロッパカップ観戦、10～12日＝ロスネフトカップ、13日帰国準備、14日出発、モスクワ経由にて15日帰国した。

ロシアチーム

当初は、3月9日のヨーロッパカップ準々決勝戦のALLEZ CRETEIL（フランス）対CкифPOCHEфTъ（ロシア＝SKIF）での招待試合形式でU－23対ウクライナが計画された。しかし、ビザ申請の不備（本年からロシアのビザ発始条件一部変更。このため、日本も4選手が直前の発給となった）から、ウクライナが入国出来ず、流れたと、後で聞かされ残念であった。

アストラハン（18才～22才）は、182cmが一番小さく、あとは200cm台が3名、190cm以上が4名で、スキフー2も200cm台は2名であったが、193～199cmが9名と言う、共に大型チームであった。本来U－23が求めていたスピードのある攻め、積極的な守りで対抗し、別記の様な戦績を残している。ロスネフトカップでの最終戦は、地元スキフー2が必勝を期して、トレーニングマッチの時よりもスーパーリーグ参加選手を多く参加させていた。

遠征の成果

今回の遠征では、イブニングニュースで日本のU－23チームの練習風景を流しながら訪ロのニュースが報道され

たり、田村ヘッドコーチに翌日の試合についてのインタービューを受けた。同じ時期に合宿をしていたロシア女子U－17チームの打ち上げが取材されたり、我々のチームの滞在を知った町のCDショップのオーナーが選手のサインを求めたり、また、ハンドボール学校で学んでいる生徒からサインを求められたりと、ロシアに於けるハンドボールの位置づけなどを実感した。ヨーロッパカップ観戦（会場のアウェーとホームの雰囲気含め）により得たものは、フランスチームとロシアチームのハンドボールの質の相違である。その他、実戦以外からも多くを感じとってくれたと思う。

クーバン行政区（日本で言う関東地方とか関西地方という枠）のNO.３のゾーヤ氏（女性、クラブ選手権で来日した時の団長）、ユーリ氏やオレグ氏（クーバン協会NO.２）、他のスタッフが準備期間少なかったため、期待通りの受入が出来たかと気にしてくれたが、U－23にとっては貴重な経験になったと思う。世界学生とは異なり、選手のモチベーションも危惧したが、一生懸命に良くやってくれた。

第１ＧＫをロシアナショナルチームに出してＧＫ不在に悩むユーリ監督には浦和（日体大）、木下（中京大）両選手が注目されていた。猪妻（早稲田大）選手には、ハンドボール留学の勧めもあったり、不慣れなサイドでスピード感溢れるプレーを見せた村上選手（大経大）他がユーリ監督の目に留まっていた。ホンダで活躍しているクリチェンコ選手が８才から18才迄を過ごし、指導を受けたのがユーリ氏であるが、留学の希望があれば、クーバンアカデミーへの留学（条件として英語の指導が理解出来る程度の英会話力必要）受け入れも可能としている。

ロシアも世代交替時期に来ているが、育成環境の変化（ソ連からロシアへの移行影響で経済支援の不足、その他）が、若手育成に影響しているという。このままでは、アテネ五輪、北京五輪での凋落もめるかと、かなりの危機感を持っていた。

謝辞

目標を失っていた2002男子U－23にとって、今回の遠征の収穫は期待できるものと言える。５選手が日本リーグへ進んでくれるが、残りの３、４年生も2002男子U－23の経験を生かして活躍を斯待したい。

最後に、この遠征を物心両面でサポートして戴いたロシア大使館、クーバン協会、ロスネフト・オイル・カンパニー社、SKIFチームのロシアサイトのみでなく、協会はじめ、モルテン社、アサカ社、その他多くの方々に、紙面を借りてお礼と感謝の意を表します。

戦　績

◇ロスネウトカップ

３月10日　○U－23　34－32　アストラハン
３月11日　○U－23　35－19　クラスノダール選抜
３月12日　●U－23　24－33　ＳＫＩＦ－２
優勝ＳＫＩＦ－２、２位U－23、
３位アストラハン、４位クラスノダール選抜

◇テストマッチ

３月６日　○U－23　40－14　クラスノダール選抜
３月７日　●U－23　26－28　ＳＫＩＦ－２
３月８日　○U－23　35－27　ＳＫＩＦ－Ｊ

選手団（大学名は遠征当時の所属）

チームリーダー　福地　賢介
（全日本学連理事長・日本協会強化委員会）
テクニカルディレクター　松　善美夫
（全日本学連理事・日本協会強化委員会）
ヘッドコーチ　田村　修治
（全日本U－23・東海大監督）
※松井幸嗣ヘッドコーチは公務で不参加。
※岩永選手（筑波大）は試験の為、不参加。

プレイヤー
ＧＫ 木下　国大（中京大）ＣＰ 猪妻　正活（早稲田）
ＧＫ 浦和　克行（日体大）ＣＰ 村上　秀行（大経大）
ＣＰ 長村　昇（日本大）ＣＰ 吉田　尚寛（中部大）
ＣＰ 中谷　哲也（中部大）ＣＰ 河瀬　豊（大体大）
ＣＰ 香川　将之（中部大）ＣＰ 飯田　健一（日体大）
ＣＰ 福田　大樹（東海大）ＣＰ 嘉古田奨吾（日体大）
ＣＰ 細谷　紀彦（大佐大）

第５回全日本ビーチハンドボール選手権大会
第７回全国ビーチハンドボールフェスティバル富浦さざ波大会

夏だ、ビーチハンドだ、富浦だ！

夏の訪れの遅い今年はじめの夏日となった千葉県、富浦海岸は58チームのビーチハンドボーラーの歓声で埋め尽くされた。８月２日（土)、３日（日）の２日間に渡って第５回全日本ビーチハンドボール選手権大会（男子９チーム、女子６チーム）と、第７回全国ビーチハンドボールフェスティバル富浦さざ波大会（男子28チーム、女子15チーム）が開催された。富浦海岸は日本のビーチハンドボール発祥の地で、参加者も常連から、初参加まで様々。今年は実業団選手権と大会期日が重なってしまい男子大崎電気、女子シャトレーゼが不参加ではあったが、過去最高の参加チーム数で、大いに盛り上がった。

秋田でのワールドゲームズ以来、着実に日本のレベルは上がっているという。また、参加者は、高校生から50代まで、年齢層の広さもビーチハンドボールの特徴である。解放された海辺という空間で、強い夏の日差しの中で行われるハンドボールは、また、ひと味違ったものである。海岸という地理上のメリットから、試合間には海水浴、バーベキューと言った風景も楽しい。

ビーチハンドならではのバーベキュー風景

〈地元密着の大会作り〉

砂地で行われるビーチハンドボールでは、体育館やグランドで行われる大会とは異なった運営マニュアルが必要である。まずは会場の確保。多くの海岸は夏海水浴場となるため、使用は非常に難しい。また、海岸は傾斜地であるため、平地を作ることも大切である。夏の海水浴シーズンのため、宿泊施設の確保も大変。そして何よりも、夏の全国大会シーズン、学校現場では夏合宿と大会役員の確保は並大抵のものではない。

今大会に於いては本間誠章氏（日本協会参事、ビーチハンドボール担当)、内記英夫千葉県協会理事長を筆頭に、千葉県協会の全面的バックのもと７回目の開催となる。吉野千里さん、原田悟さんはじめ、県内各地の教職員の協力も忘れられない。海岸は地元富浦町の協力のもと、４月以降３回の整地作業を行い、大会前日はコート作りのため役員総出となる。宿泊施設は町観光協会、町民宿組合の協力で大会参加者約600名の宿泊が可能となる。もちろんこれは、マイカーの普及で日帰り客が多くなる町の活性化にも繋がっている。浜辺の売店も大会期間中の売り上げは大きな収入となる。このため、地域から大会開催の要請が出るほどに地元に根付いているという。

大会最終日には川上常務理事も来場し選手を激励する。その際、同席した遠藤一郎富浦町長との話の中では、2004年開催が予定される第２回ビーチハンドボール・ワールドカップアジア予選の富浦開催の話も出、町長も大いに興味を持たれたようである。

右より、本間参事、遠藤富浦町町長、川上常務理事

※大会結果については次号に掲載します。

寄稿 笛のメロディ（音調）について

元国際審判員　光島 磯雄（兵庫県）

私自身、あるときは観客席で、あるときは記録席役員として、あるときはプレイヤーやチーム役員として、聞き飽きるくらいレフェリーの笛の旋律（メロディ）に接してきたつもりである。そこには、まるで罪をおかして謝罪するかのような、オドオドと意気地のない吹き方もあれば、対照的に、「全関係者を心から納得させる音響効果」のすばらしい吹き方があったことを思い出す。

○○ 音調・音色の大切さ ○○

自信のないレフェリーの音調・音色について、すべての試合関係者はその都度自問自答する。「これはどう対処すればよいのか？」と。つづいて「いったいなにがおこって、だれがどうしたというのだ？」という疑問もわいてくることがある。これが高まると「不信感」につながる。

そうかと思うと、金切り声のような音響で、権力を振りかざした、あたかも交差点の警官が、違反を摘発するかの感じで吹きまくるさまにはおそれいる。試合関係者としては、「あれはいったいなにを嚇かしているのか？」「あれは目立ちたがり」と驚き、怪しむとともに理解に苦しむ。

われわれも長年にわたって、この道具（笛）を使って試合に関わってきた。このことには常に積極的に論議してきたが、吹笛の音響効果がプレイヤー、観客、試合役員全体に適切な理解を得る能力を、レフェリーの最大任務とするまでには長い時間がかかった。

こんにち、全ハンドボール人はレフェリーの笛の重要性を理解し、それが試合中の多くの問題（感情表現と雰囲気の造成）に大きく影響することを承知している。しかもなお、レフェリーの人格は吹笛とは関係ではない。「熟練による調和性とマッチした結果」で表れるようにしなければならない。レフェリーという仕事が万人に楽しめるようにも工夫されなければならないと考える。

○○ 若きレフェリーへ ○○

将来性に富むヤングレフェリーの諸君よ、君たちのなかには笛そのものを「もてあます」とする心理状態から抜け出せないでいる者もいるのではないか！

笛を口にくわえっぱなしにしていないか。笛を吹くたびに手に戻す（口から離す）のを忘れるとか、紐で首からぶらさげるなどの気配りをしていないのではないか。そしてまた個々の判定の適不適にこだわって自信喪失になっていないか。結論としては、「レフェリー用具をいかに効果的に使うか」が一人前のレフェリーとしての基本条件であり、そのために権力のシンボルとしての笛とイエローカードやレッドカードがあり、特定のユニフォームと標章の着用が認められている。原則としてこれらの用具の使用がまともでなければとうてい一人前とは認められない。

上記の物件はあくまでも状況に応じて自由に使い分ける道具である。レフェリーとしての分別や知性ある人ならば、レフェリングをあたかも音楽演奏のように演出する。すなわち、笛のメロディ（音調・旋律）でプレイヤーや観客を驚かせるとか、怖がらせることなく、はっきりと判定を伝えるようにしなくてはならない。笛の吹き方にも「音の高低、強弱、長短、硬軟、寛厳など」を場面に応じて区別せよ。たとえばフリースロー、7m スロー、罰則宣告（警告、退場、失格、追放など）などを、それぞれ音の調子・種類を変えるようにする。笛の音でプレーの中断し、手と腕の動きにより中断の理由と次のプレーのボール方向を指示する。いうまでもないが、コート上ではいちいち判定理由を説明する余裕はない。笛の音と身振りは「要約されたレフェリーの意志表現」である。

○○ より良い判定のために ○○

かさねて強調するが、笛の音と身振りによる表現はすべての判定を即座にわからせるための技術であり、手段である。もしもこれが笛を吹いた位置からなんの行動もおこさずに手先だけであいまいな指示をすれば「怠慢」と見られて当然である。

単にフリースローとなる場面で、けたたましいとか長くひっぱるような吹き方をすると、雰囲気にそぐわない奇妙な気分ができるであろう。同様に、各種罰則判定の場面で、しまりのない（間の抜けた）吹き方をすればレフェリーの判定が確信に欠けるものと疑われるであろう。このような権力意識過剰または優柔不断な態度は不快な論議事例（話題）をつくるだけである。

レフェリーとしてつとめる者は、「笛と身振りの効果的活用」を通じて試合の円滑な運行管理に責任を負うが、あくまでも熟練した技術・手段がレフェリーの人格と一致したものでなければならない。すべての研修、トレーニングの目的はこの点にある。この努力がすべてのハンドボール人によろこびと感動をもたらすことを知り、レフェリーの最大最終目標としなくてはならない。

とにかく「良い笛の旋律を演出しようではないか!!!」

平成15年6月常務理事会

日　時　平成15年6月7日（土）
場　所　日本青年会　304号室
出席者　山下副会長、大西専務理事、常務理事8名、監事1名、参事3名、事務局5名

審議事項

1．平成14年度事業報告書（案）
2．平成14年度決算書（案）
3．平成15年度第一次補正予算（案）
以上の3議題は、午後の理事会にて一括審議する。

4．日本協会組織について
・市原「副会長」の件は、午後の理事会で承認を受けることとする。
・平岡氏の「理事」は、評議員会で承認を受けることとする。
・徳高氏の「参事」は、本会議で承認。
・蒲生参事の処遇を「理事待遇」とする。
・スケジュール委員会の所属を、競技運営部とする。
・「アテネオリンピック予選」をプロジェクトからはずす。
・マーケティング本部からは具体的な指示を事務局次長に伝えてもらいたい。

5．評議員候補選任について
別紙資料候補53名全員が評議員に選任された。

6．事務局の職務分掌について
・次長の職務にマーケティングを追加する。トップリーグ支援事業として次長は日本リーグ専従員の必要性あり。

7．ハンドボールフォーラムについて
・「オリンピック出場必達という危機感を持たせる」と言う意味ではアテネ予選前、「北京を見据えて新規まき直し」と言う意味では、アテネ予選後に開催してはどうか。継続審議事項とする。

8．米倉名誉会長慰労会の件
・記念品を贈呈する事とする。

9．ムササビプラクティスシャツの販売体制について
・販売数増加、問い合わせも多い。在庫が不足気味なので、新ロットの追加発注が提案され承認された。

10．平成16年第9回岡山ジャパンオープンについて
・岡山県の要望である「女子のみジャパンオープン・リハーサル大会」は承認。一方男子は、国体開催会場以外の総社市、倉敷市で開催することの報告があった。

11．アテネ予選について
・6月28日（土）開催の第2回実行委員会、全体会議等について説明。
・後援に、NHK、読売新聞社、デイリー新聞社を追加。協賛に、キリンビールを追加。
・組織委員会委員に地元神戸市の企業を参入計画中。
・TV放映の関係から、組み合わせの時間調整をAHFに申し入れ中。
・ハンドボールの幟を作成中、神戸市公園緑化協会と相談の上、駅から会場まで立てる予定。この幟は、他の大きな大会でも使用する。
・TV放映について、サンテレビと交渉中、スカパーは申込みをすればOK。韓国KBCは放映権料を徴収の上、承認する。
・延期、中止の場合の対応策（契約上、損害賠償、体育館の充当等）を考えておくことの提案。
・6月28日の会議に各部門の進捗状況を報告。
・長嶋茂雄氏が、アテネ予選大会初日（9月23日）に激励のためお見えになる予定。

12．その他
IHFから質問がきているビーチハンドボールワールドカップの開催については、大西専務、江成常務理事に一任する。

報告事項

1．危機管理委員会について
・SARSに関するJOC、神戸市の見解を説明。
2．日本協会顧問・参与の資格基準について
3．プロジェクト21
4．平成15年度大会派遣役員の件
5．第6回ハンドボール研究集会要項
以上は、資料により説明。

6．強化報告
・資料について説明。
・日本代表メンバーは、プレスリリースOK。代表メンバーは、絞り込みをして20名、大会前日には16名にする。
・世界女子ジュニア選手権大会の目標を8位以内におく。
・合宿は、必ずしも海外にこだわることなく、国内も大いに活用すること。

7．タラフレックスの件
・実業団チームに打診中。

8．『がんばれハンドボール10万人会』サポート会
・サポート会会長を候補者に打診中。

9．その他
・今年度totoの助成金減少となったが、前年対比では40％増である。
・NTS事業の助成金減少による対応策を説明。
・医科学委員会の活動。
・他競技団体では役員の中に、女性が3～4人いる。当協会も女性役員を増やす必要がある。
・蒲生晴明氏の理事待遇を、理事会で発表する。

平成15年度第1回理事会

日　時　平成15年6月7日（土）
場　所　日本青年館　301号室
出席者　山下副会長、市原副会長、大西専務理事、常務理事7名、理事6名、監事2名、参事17名、事務局5名

審議事項

1．平成14年度事業報告書（案）
承認された。

2．平成14年度決算書（案）
平成14年度収支決算書（案）について、次のように報告された。

○収入
・分担金…増額について説明があった。
・補助金…JOCからの補助が増額された。
・事業収入は、増収であった。登録金の減額、協会役員登録金の増額、J級の登録金増額などがあった旨報告があった。
・寄付金…㈱エスエスケイからの寄付などがあった。
・特別会計からの繰り入れに関して、日本リーグからの繰入金をアテネ予選の積立金とした。
・収入合計の増額による決算であった。

○支出
・人件費の増額、運営費の節減、役員旅費の増額。
・普及、審判、競技運営など節減、競技力向上はオーバー、マーケティング委員会の増額は、会議費・旅費の増加による。
・特定預金積立は、アテネ予選に向けての積み立てに充てたため、当初予算をオーバーした。
・予備費は、アテネ予選関連経費として一部執行した。
・次期繰り越しの減額。
・委託事業、助成事業、単独事業、アテネ強化など支出説明があった。

以上、検討の上、監事３名による署名がなされ14年度における決算が適正であるとの監査報告が監事よりあった。

以上、平成14年度事業報告書及び決算書について承認された。

３.平成15年度事業予算（１次補正）

○収入
・登録金は日本リーグチーム数の減少により、分担金などの減少が報告された。

○支出
・国際関係事業費として東アジア大会の設立準備金として積み立てた。

４.日本協会組織について

資料による組織図が提示された。

蒲生氏の位置づけ（理事待遇)、女性委員会の新設などが説明された。

女性だけの国際スポーツ会議が2005年に熊本での開催も念頭におく。

上記は、承認された。

５.評議員候補選任について

資料の53名の評議員候補が全員承認された。

６.ハンドボールフォーラムについて

日本リーグの活性化と地域ハンドボールの育成が２大課題となっており、この２つをテーマにしてシンポジュウムを企画する。参加者を10万人会会員も対象に拡充することは前向きに検討する。

７.平成16年第９回岡山ジャパンオープンについて

国体のリハーサル大会としては、女子のみとしたい。一方男子は、国体開催会場以外の総社市、倉敷市で開催するとの報告があった。

従来通りでは色々な意味で負担が大きい。チーム参加人員の削減などで対処していきたい。

報告事項

１.プロジェクト21について

日本協会として、普及を推進していきたい。都道府県の市町村にある様々なチームを起点として、派生的に多くのチーム作りができないか。大学・実業団ＯＢを中心に小学校チームの創設をするためのノウハウを提供していきたい。例えば、Ｊ級など協会が定めた資格を利用して、行政に働きかけていく等が考えられる。

２.「がんばれハンドボール10万人会」サポート会について

・４年目の評価。会員募集のノウハウは都道府県協会オリジナルを優先させ、主体的に活動していく方向が確認された。
・日本協会には、ファミリー会員、グループ会員の名簿を都道府県より、提出してほしい。
・平成15年度の方針として、常務理事・理事は卒業生や引退した部員等に勧誘を、参事は特別会員、ファミリー会員の獲得をお願いしたい。未更新者にはフレンド会員として掘り起こしをかけたい。各ブロックで活動の状況を連絡していただきたい。平岡理事に本部長を依頼するなど、組織作りを推進している。

３.アテネオリンピックアジア予選について

１月24日第１回実行委員会を実施した。後援依頼を様々なマスコミ関係にお願いしていく。理事、参事の方に組織委員として参加していただく等の組織構成案が確認された。観客動員等に関する協力依頼があった。

４.第９回ヒロシマ国際大会の件

ＳＡＲＳの深刻な影響が懸念されるため中止とする旨、報告があった。

５.ムササビプラクティスシャツの販売体制について

日本リーグプレーオフの中で販売し、人気度が高かった。４月以降販売促進継続している。販売協力の依頼があった。都道府県で販売のとりまとめと10万人会とタイアップした販売促進を検討していきたい。10万人会の入会依頼文書などの中に、シャツの購入案内をしたい。

６.ｔｏｔｏに関して予算配分の減額対策について

７.第６回ハンドボール研究集会要項について

秋田県で実施する。ハンドボール関係者以外の小学校の先生方が多数参加している。

８.強化部報告

2003年女子のジュニア選手権への参加について、他の報告があった。

代表候補の名簿、代表関係の強化日程が報告された。

９.その他

出席理事、参事より次の報告があった。

関東ブロック：小学校の大会を、国体のリハーサル大会にできないか。

東海ブロック：ｔｏｔｏに関して、アンダー15の大会やＪ級指導員養成の補助金が中止になったので、ｔｏｔｏのロゴに変わるマークを連絡してほしい。

中体連：８月の全国大会。第12回ＪＯＣカップで、16チームへ参加増となった。

後藤氏:ソフトボールの国際審判員は、元学芸大学のハンドボーラーであった。小さいころからレフェリーの方向付けがあってもよいのではないか。

北信越ブロック：国体の出場枠について、北信越が１の理由は何故か。国体にどれだけチームが出るかが地方協会では重要である。

→国体の枠は登録チーム数、登録人員数による。富山国体以降見直しの機運があったが、変更には至らなかった。今後、抜本的に考えていく必要がある。現状は、全員で決めた内容である。

教職員:教職員大会は一昨年より中止。マスターズを実施している。35歳以上とそれ以下の年齢で開催できる方向性を探っている。役員改選による人事異動があり、遠藤会長が就任。

ビーチハンドボール：日本ワールドゲームスの総会。第６回秋田大会では公開競技であった。次回ドイツ大会でも公開競技として開催決定。正式競技になるためには、国際大会をもっと開催する必要がある。ＩＨＦへの働きかけを依頼。第２回東北大会を青森で開催。８月に千葉で全日本大会を実施。

女性委員会：メンバーを募る。

指導委員会：ｔｏｔｏの補助金中止により、Ｊ級とコーチレフェリーシンポジュウムは協会事業。補助５万円。

東北：ＪＯＣジュニアカップへの参加は無理がある。国体のリハーサル大会を中学校の大会とタイアップしてできないか。国体枠を都道府県数で決めてほしい。

中国：大きな大会を控えている。

高専：全国62高専の内、６割がチームをもっており、なお増加傾向あり。すべての小学校に日本協会のロゴ入りボールの寄贈をお願いしたい。

学校体育：地方の教員養成大学は、地方の小中の先生養成を目指している。ブロックの学生の大会を支援してほしい。

九州:大会の競技運営上の問題として、審判・マッチバイザーの連携により、運営のスムーズ化を図れないか。

実業団：大会の案内。７月末新潟県の柏崎市中心に、全日本実業団選手権開催。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」7月入会・継続会員

【北海道】藤澤賢治、駒林昭三、畑中　裕、畑中江子**【青森】**西村光子**【岩手】**上川正二、谷川富男**【宮城】**千田文彦、加藤宏之、加藤次郎**【秋田】**山本　勲**【茨城】**伊藤明美、岡本　大、出頭秀彦、増田　徹**【栃木】**中山富夫**【群馬】**星野英雄、小林璽良、小林瑞宝**【千葉】**三井　信、里　義廣、大林美樹、稲生久美子、鬼塚あゆみ**【東京】**河内鋭雄、安藤純光**【神奈川】**平岡秀雄、蒲谷裕正、加藤良一**【山梨】**天野盛夫、斉藤節子、滝口　修、竹越幸生**【長野】**青木和彦**【富山】**旅　和子、旅　文夫、中浦　悟、金原礼子**【福井】**村上重治、毛利真明**【静岡】**山田久美子**【愛知】**熊田祐子**【三重】**田口　隆、伊藤克己、田口麻由美、田口　亮、田口大貴**【岐阜】**森川俊章、杉本　要、名倉昭弘**【滋賀】**安永真弓**【大阪】**塩川正十郎、宮崎　寛、久保義雄、里村静俊、田中幸二郎、田中いつみ、三好直樹、岸本　幟、本坊章太、奥浜　清、土井秀和、津田潤平、脇田和勇、赤星　明、白鳥貴子、中井紀子、金沢加代、中務敏男、戸谷克蔵、繁田順子、川野晴雄**【奈良】**木森啓至**【広島】**増田数重**【山口】**森田俊介、溝部弥三郎**【香川】**藤沢秋義**【徳島】**長尾輝夫**【愛媛】**栗田　亮**【佐賀】**高橋洋治**【長崎】**石井通義、藤井　寛**【熊本】**上野信行、松本恵子、三角保之**【宮崎】**鈴木梨香**【鹿児島】**井料たか子

プラクティスシャツを着た人(2)

① 壮行試合横浜会場にて
横浜創英高校ハンドボール部
太田裕貴君、酒寄鷹佐君

② 全日本ビーチハンドボール選手権大会会場にて
「ヤングオジンガーZ」のメンバー

インターネットHP開設者の皆様

ハンドボール関連のHPされている方にお願いいたします。あなたのHPサイトから、日本ハンドボール協会HPにリンクできるように設定をお願いします。

HPアドレス　http://www.handball.jp/

【9月の行事予定】

9月6日（土）
常務理事会　東京
9月23日（火）～28日（日）
アテネオリンピック・アジア予選　神戸

HAND BALL CONTENTS Sep

（登録チームの購読料は登録料に含む）

2003コートの主役

PKCH3-AD　　¥4,600

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用
天然皮革

PKCH2-AD　　¥4,500

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革

http://www.mikasasports.co.jp

（財）日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四四三号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可

平成十五年八月二十六日印刷 平成十五年九月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―一 電話 代表 三四八一―二三六一 振替 〇〇一二〇―七―一〇二九三

編集兼発行人 大西武三

定価 年間三三〇〇円